

# 新生匝瑳のふるさとづくり 次のステージに向け 大きく飛躍



## 昨年を振り返って

明けましておめでとうございます。  
市民の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を顧みますと、匝瑳市が誕生して10周年を迎えた節目の年でありました。

教育施設の耐震化を図るため進めております学校教育施設耐震改築事業では、防災機能を備えた野田、栄両小学校の屋内運動場が2月に完成し、本年2月に完成予定の吉田小学校屋内運動場の整備をもって全ての小・中学校の耐震化が終了いたします。

3月には、市役所北側に整備を進めておりました「そうさ記念公園」が、4月には、JR八日市場駅前のJ-T跡地に本市の観光拠点となる「そうさ観光物産センター」の「里」が、それぞれオープンいたしました。11月には、共興地区長谷地先に市内2基

目となる津波避難タワーが完成しました。本年は、栄地区に3基目の津波避難タワーを建設する予定であり、地域の安心・安全のための環境整備を一步一步着実に進めることができたと考えています。

また、市制施行10周年の節目を祝う記念式典を、3月に八日市場ドームで挙行いたしました。10月には、本市では62年振りの相撲巡業となる「大相撲秋巡業匝瑳場所」を開催することができ、賑々しく記念事業を締めくくることができました。

多くの皆様から温かいご理解とご支援を賜りましたことに対しまして、厚く御礼申し上げます。

この他、3月には、本市の将来都市像である「海・みどり・ひとがはぐくむ活力あるまち匝瑳市」の実現に向け、まちづくりの方向性を示す「匝瑳市総合計画後期基本計画」および、喫緊の課題であります人口減少の抑制や地域の活性化を図るため、「匝

匝瑳市長 太田安規



昨年3月26日に挙行された「匝瑳市制施行10周年記念式典」。市内外から約600人が列席した

匝瑳市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を市民アンケートなどを通じて市民の皆様から多くの意見などをいただき、策定いたしました。これらの計画に基づき、それぞれの地域において、住みよい環境を確保し、将来にわたって持続可能な活力あるまちづくりを目指し、新たなスタートを切った年でもありました。

### 新たな飛躍に向け

本年も、若者の就労や結婚、子育て、教育支援策に取り組み、若者の移住・定住の促進を図り、多くの方に匝瑳市に住んでいただけるよう、住宅取得への補助や空き家バンクの登録物件を充実させるとともに、移住希望者に対する情報発信や相談体制の整備を推進してまいります。

子育て・教育環境の向上では、地域全体で子育てに関する輪を広げ、子育て世代のコミュニケーションの機会を増やし、いじめ問題など子育てについての不安を和らげるよう努め、若者の雇用対策の面でも、旧匝瑳小学校や旧学校給食センターの跡地利活用なども含め、市外からの企業誘致などの体制も整えて、雇用創出に努めます。

また、介護環境を充実させ、健康でアクティブな高齢者の移住を受け入れる体制を整備します。

さらに、市民活動団体や企業などと行政が連携・協働して地域振興へ取り組めるよ

う、市民提案型事業に対する助成制度などを整備してまいります。

なお、施設の老朽化が進む匝瑳市民病院につきましましては、現在、新改革プラン及び建替整備検討委員会において、将来の方向性や施設の建て替えについて、ご検討をいただいているところであり、本年はその答申が出されますので、その

検討結果を踏まえ、今後の施設の建て替えおよび経営改善にしっかりと取り組む所存です。

そして、10年が経過した匝瑳市が、新たなステージに向けて大きく飛躍できますよう「新生匝瑳のふるさとづくり」に、市民の皆様や各種団体などと行政が一体となって全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新年が皆様にとりまして、笑顔が輝く、希望に満ちた一年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



市制施行10周年記念行事を締めくくった「大相撲秋巡業匝瑳場所」。会場は約2700人の相撲ファンで埋め尽くされた